

住めば「きっと好きになる！」



令和6年度

山形市 移住パンフレット



もくじ

P02 | 山形市はこんな所

P03 | 魅力

P05 | 気候

P06 | 冬の暮らしの知恵袋

P07 | コミュニティバス

P08 | 買い物エリア

P09 | 医療環境

P10 | 東京との生活比較

P11 | 子育て環境

P13 | 教育環境

P14 | はたらく環境

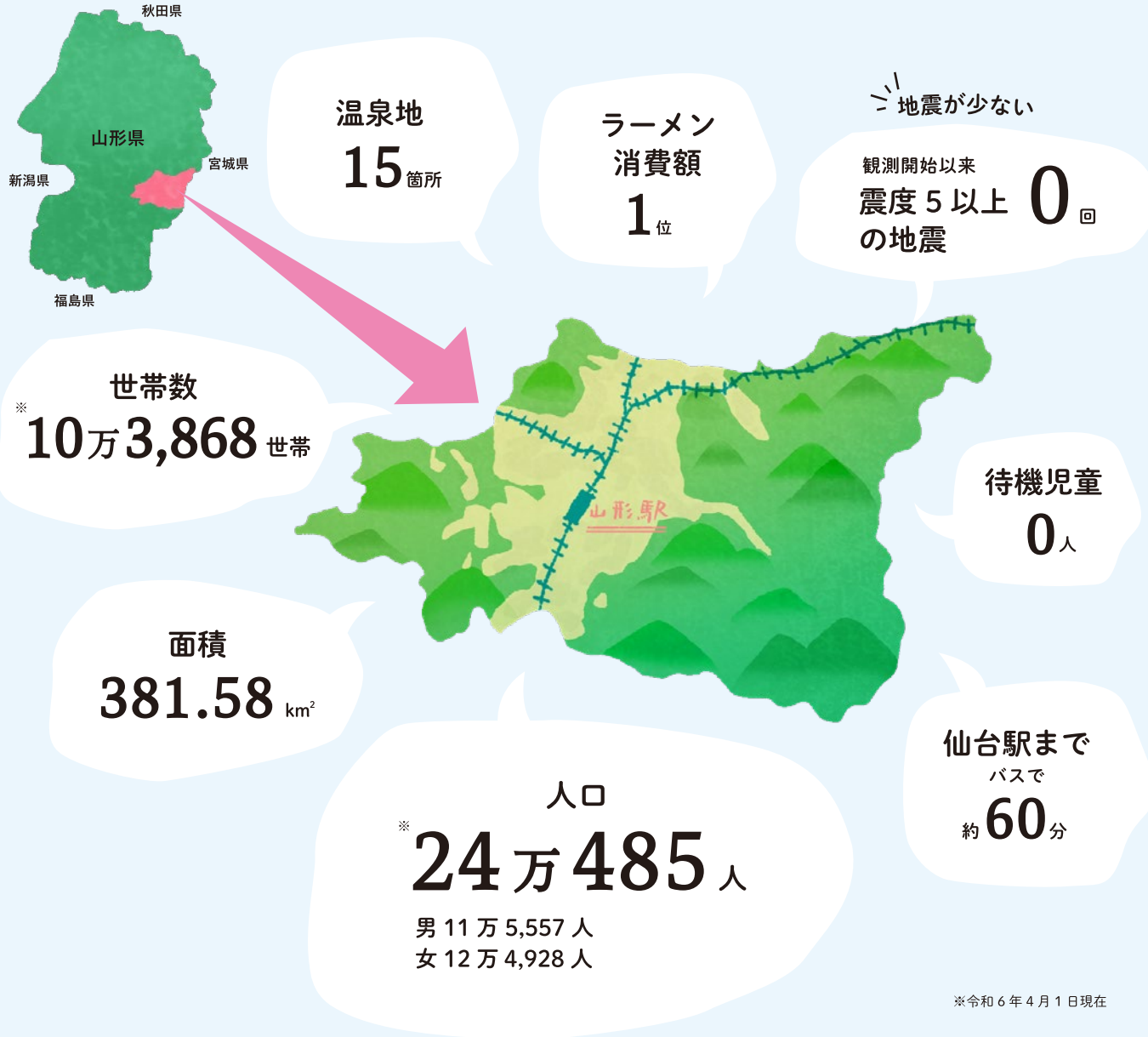
P15 | 移住までの流れ

P17 | 移住者の声

P18 | 相談窓口

01 山形市はこんな所

山形市は、四方を山々に囲まれた自然豊かな街でありながら、都市機能も充実した暮らしやすい街です。また、城下町のたたずまいを残し、歴史・伝統・文化を大切に受け継ぎながら県庁所在地として発展してきました。平成31年には中核市に移行し、村山地方6市7町と山形連携中枢都市圏を形成し、様々な連携事業を実施しています。



東京ー山形市の交通アクセス

新幹線



JR 東京駅⇄JR 山形駅
約2時間30分

自動車



東北自動車道、山形自動車道
浦和 IC⇄村田 JCT⇄山形蔵王 IC
約4時間

飛行機



羽田空港⇄山形空港 60分
空港シャトル⇄JR 山形駅 40分

山形市の魅力は、自然、歴史、そして食です。盆地である地形の特性により寒暖差が大きい気候環境と良質な水に恵まれ、美味しい農作物が生まれ、特産品になっています。温泉の多い山形県の中でも山形市は蔵王に代表されるような多様な泉質の温泉がたくさんあります。また、芸術の分野でも日本有数の本格的オーケストラである「山形交響楽団」が活躍するなど、特別なものが身近にある街です。

食文化

豊かな土壌が生み出す四季折々の豊富な作物と「芋煮会」で有名な芋煮をはじめ、たくさんの郷土料理が受け継がれています。また、消費額全国1位のラーメンや蕎麦、パン屋、カフェ、世界的に評価されているレストランなど多彩で豊かな食文化が根付いています。

さくらんぼ ラ・フランス 芋煮 ラーメンの聖地 冷たい肉そば

げそ天 どんどん焼き



暮らし

県庁所在地で中核市の山形市は、都市機能も充実していてとても暮らしやすい街です。自然が身近にあり、登山、キャンプ、ウィンタースポーツも気軽にでき、穏やかな生活が送れます。地域とのつながりもあり、人との関わりが持てて心豊かに暮らすことができます。

新幹線の停車駅 空港も近い 都市と自然のバランスがいい

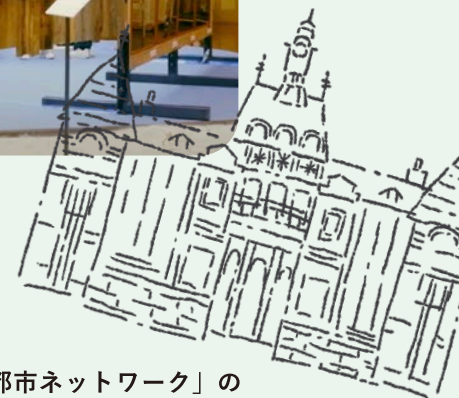
子育て支援が充実 仙台に近い 東京まで2時間半 温泉が豊富



自然

山形市は、樹氷と温泉で名高い「蔵王」や、俳聖松尾芭蕉ゆかりの「山寺」などの観光地を有する自然豊かな街です。四方を山で囲まれ、一年中美しい景色を堪能できるスポットがたくさんあります。

樹氷 蔵王連峰 山寺 自然豊か 四季折々の風景が美しい
市街地の降雪量は少ない アウトドア



文化

山形市は 2017 年に日本で初めて「ユネスコ創造都市ネットワーク」の映画分野に加盟しました。山形国際ドキュメンタリー映画祭をはじめとする映像文化に加え、音楽や食など多彩で豊富な文化資源に恵まれています。また、山形交響楽団や山形美術館、東北芸術工科大学などが身近にあり、2年に1度開催される山形ビエンナーレなど、文化や芸術に触れる機会がたくさんあるのも魅力です。

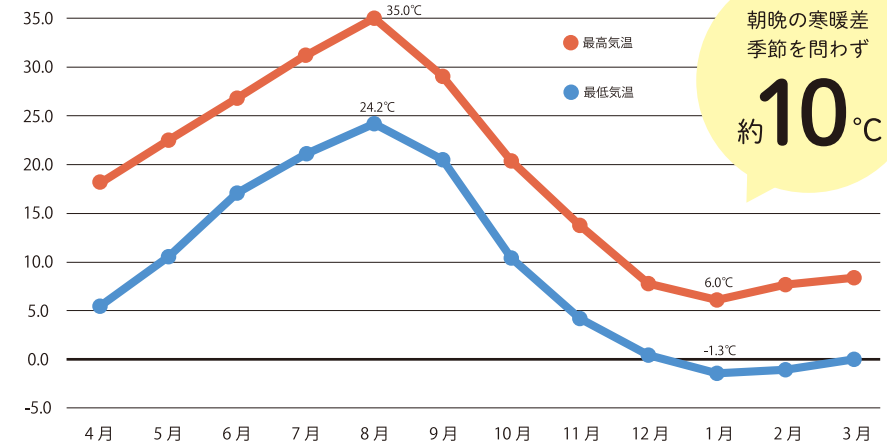
ユネスコ創造都市 国際的映画祭 山形交響楽団 東北芸術工科大学
山形ビエンナーレ 歴史的建造物 Q1 (キューイチ)

気候

山形県は日中の寒暖差、季節の寒暖差が激しい土地柄と言われています。内陸の山形市はその中でも比較的雪は少なく、街中は消雪道路が整備されております。四方を山に囲まれているため台風の上陸は少なく、東北地方の中では地震が最も少ない地域です。



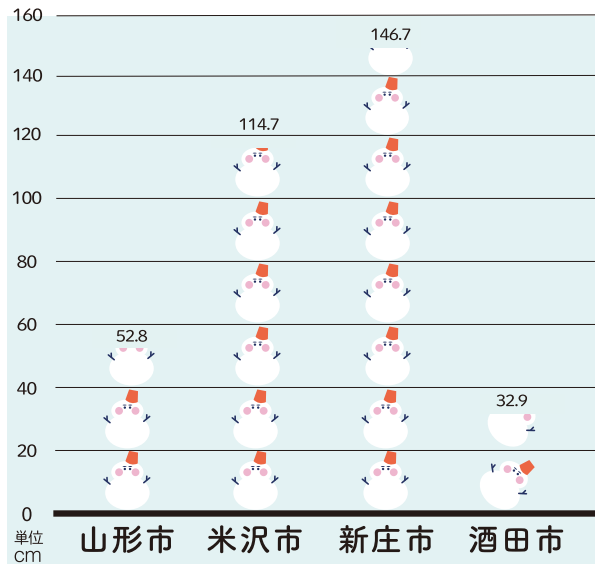
気温 (2023年4月~2024年3月)



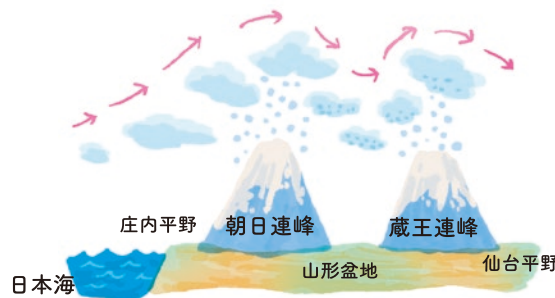
朝晩の寒暖差
季節を問わず
約10°C

降雪量 (県内対比)

※2013-2022年の平均
※気象庁観測データ参照

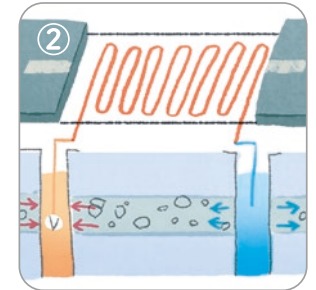
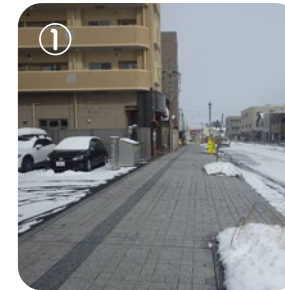


降雪量が少ない理由



北西の方角には朝日連峰、月山などの山がそびえ立っているため、冬型(西高東低)の気圧配置の湿った雲は、これらの山々にぶつかり、そこで相当量の水分(雪)を落とします。そのため山形市は県内では降雪量の少ない地域となっています。

雪の日も安心



①市街地の歩道や主要な交差点なども消雪道路が整備されてます。

②地下水の熱エネルギーを利用した日本初の無散水消雪システム。

04 冬のくらしの知恵袋

冬の寒さや雪について、いくら山形市の降雪量が他の地域に比べて少ないとはいえ、はじめての土地での暮らしには不安もあるかと思います。そこで、先輩移住者たちの経験をもとに雪国初心者の方が安心して冬も暮らせるように防寒・防雪の知恵をまとめました。

外出

歩きかた

歩く際は体の重心を下げ、踏み締めるようにゆっくり・歩幅を狭くして歩くと転びにくい。



スノーブーツ

滑り止め機能がついた雪が浸みないブーツ。防寒効果もあるので、あたたかいです。

車

ワイパー

雪用ワイパーに交換します。駐車する際はワイパーを立てておくのを忘れずに。



タイヤ

冬季の運転はスタッドレスタイヤが必須。履き替えるタイミングは、11月と5月がいいでしょう。

※運転する際は、運転中の急ブレーキ、急ハンドルは厳禁。道路の凍結による渋滞など、もしもの時のためにガソリンはこまめに満タンにしておきましょう。



スノーブラシ

車に積もった雪を落とすための必須アイテム。ヘッドが回転できて霜取り用のヘラがついたものがオススメです。

住宅

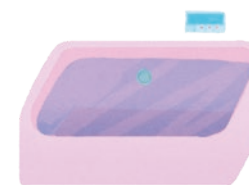
保温材

屋外でむき出しの水道管には発泡スチロール製の保温材などで保温しましょう。



給湯器

追い焚き配管を残り湯で循環させるため、お風呂のお湯は捨てないでおきましょう。また、冬の間は給湯器の電源を切らないようにしてください。



※外気温が 0°C以下になると水道管が凍結しやすくなります。0°C以下ではない場合も北側で日が当たらない場所、風当たりの強いところは特に凍結しやすいので注意してください。

雪かき

長靴と手袋

手袋は雪が浸みないものを選びましょう。長靴もあると安心です。



スノーダンプ、スノープッシャー

雪かきに最適な道具。どちらも雪を押し出すので簡単に雪かきができます。



動画もチェック！

Youtube

【山形市のリアル#4】山形市の雪事情☆実はそれほど積もりません！



05 コミュニティバス

山形駅前（山形駅東口）を起点に中心市街地、東部、西部をコミュニティバスが運行しています。東くるりん・西くるりんとも十日町や七日町、旅籠町といった市の中心部を経路としているため、中心市街地への移動に便利です。元日以外は毎日運行しているので、通勤通学や休日のご家族でのお出かけにもご利用いただけます。

【運賃】100円。エリアをまたいだ乗降は200円。小学生は大人運賃の半額、未就学児は無料。「山形市コミュニティバス子育て支援乗車証」をお持ちの方は無料。子育て支援乗車証の対象については、P11をご覧ください。



06

買い物エリア

北部と南部にイオンやニトリなど郊外型大型店舗が地区を分けてオープンしています。駅ビルや七日町エリアなど徒歩型複合商業施設もあり、中心市街地エリアは高層マンション建設と合わせて再開発計画が進んでいます。地元の特徴のあるスーパーマーケットや全国チェーン店など店舗が市内各所に点在しています。



北 エリア

- イオン山形北店
- ヤマダデンキ
- ケーズデンキ
- ニトリ
- ダイユーエイト (ホームセンター)
- ドン・キホーテ など

駅～中心街 エリア

- S-PAL 山形 (駅ビル)
- 山形駅前大通り商店街
- 七日町商店街 など

南 エリア

- イオンモール山形南
- ケーズデンキ
- ニトリ
- ゼビオ (スポーツ用品店)
- ぐっと山形 (観光物産会館)
- 道の駅 やまがた蔵王 など

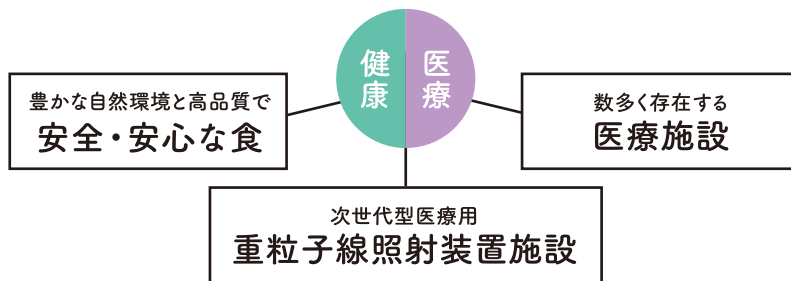
主なスーパーマーケット

市内全体 約 **40** 店舗

山形市は、市立病院済生館をはじめとする総合病院が数多く立地し、人口1人当たりの診療所数が東北の県庁所在地で最も多いです。ほかにも山形大学において世界に誇れる次世代型重粒子線がん治療装置が整備されており、他都市と比較して「医療」に強みを持っています。また、豊かな自然環境と高品質で安全・安心な食にも恵まれ、健康な生活を送るために必要な基盤が整っているほか、健康寿命増進のための『SUKSK生活』も提唱・推進しています。

山形市の取組み

■ **健康医療先進都市** 「健康医療先進都市」は、山形市が確立を目指す都市ブランドです。



- 年齢を重ねても健康でいられ、いきいきと暮らすことができるまち
- 最先端医療や医療産業、製薬会社、健康食品産業等が集積するまち
- 質の高い医療・介護が受けられるまち
- 災害に強く都市と農村と自然のバランスが良く恵まれたまち

■ SUKSK (スクスク) 生活

山形市民が健康寿命を損なう主な原因の
認知症・運動器官疾患・脳血管疾患を予防、
楽しく健康づくりをすることが目的

- S 食事
- U 運動
- K 休養
- S 社会
- K 禁煙・受動喫煙防止



専用のスマホアプリ
or 万歩計を用意



たのしく健康活動



ポイントためて



記念品の抽選に参加

病院について



人口1人当たりの診療所数
東北の県庁所在地で

No.1

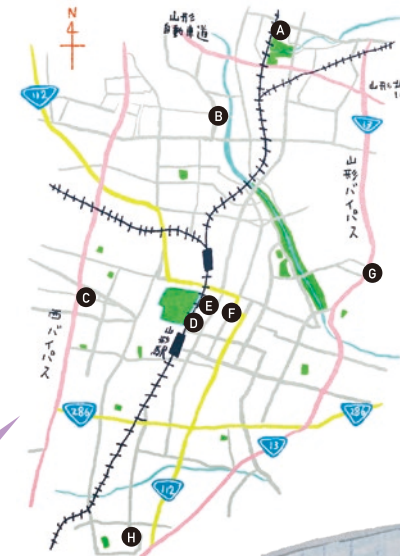


総合病院

約 **3,400** 床
※病院数は8箇所

総合病院の位置

- A 県立中央病院 658 床
- B 山形済生病院 473 床
- C 山形徳洲会病院 286 床
- D 篠田総合病院 383 床
- E 至誠堂総合病院 230 床
- F 市立病院 済生館 528 床
- G 東北中央病院 252 床
- H 山形大学医学部附属病院 601 床



診療所

約 **250** 件



歯科医院

約 **140** 件

08 東京との生活比較

職住近接で、通勤時間は都内在住者と比較して半分以下です。時間にゆとりが生まれるので、仕事帰りに蔵王でナイタースキーを楽しむこともできます。
また、家賃は東京と比べて約半額、持家住宅の広さは1.6倍と住環境にも恵まれており、世帯収入対比で30年間で1千万円以上の収支差が出るデータもあります。

経済的豊かさ

山形の経済的豊かさ

毎月自由に使えるお金

山形	252,984円
東京	193,343円

毎月では 59,641円 年間だと 約715,000円 ↑
豊かになります!

経済的豊かさ・・・可処分所得（税金や社会保険料などを除いた手取り収入）から基本支出（家賃や食費、光熱水費）を差し引き、残った金額のこと

※各都道府県の「中央世帯」（可処分所得が上位40～60%の世帯）を対象
※世帯はすべて2人以上の勤労者世帯（単身または経営者等は含まない）
資料出所 国土交通省「企業等の東京一極集中に関する懇談会とりまとめ」（令和3年1月）

通勤時間の比較

	通勤時間(片道)	帰宅時間
山形	19.2分	18:27
東京	44.5分	19:15

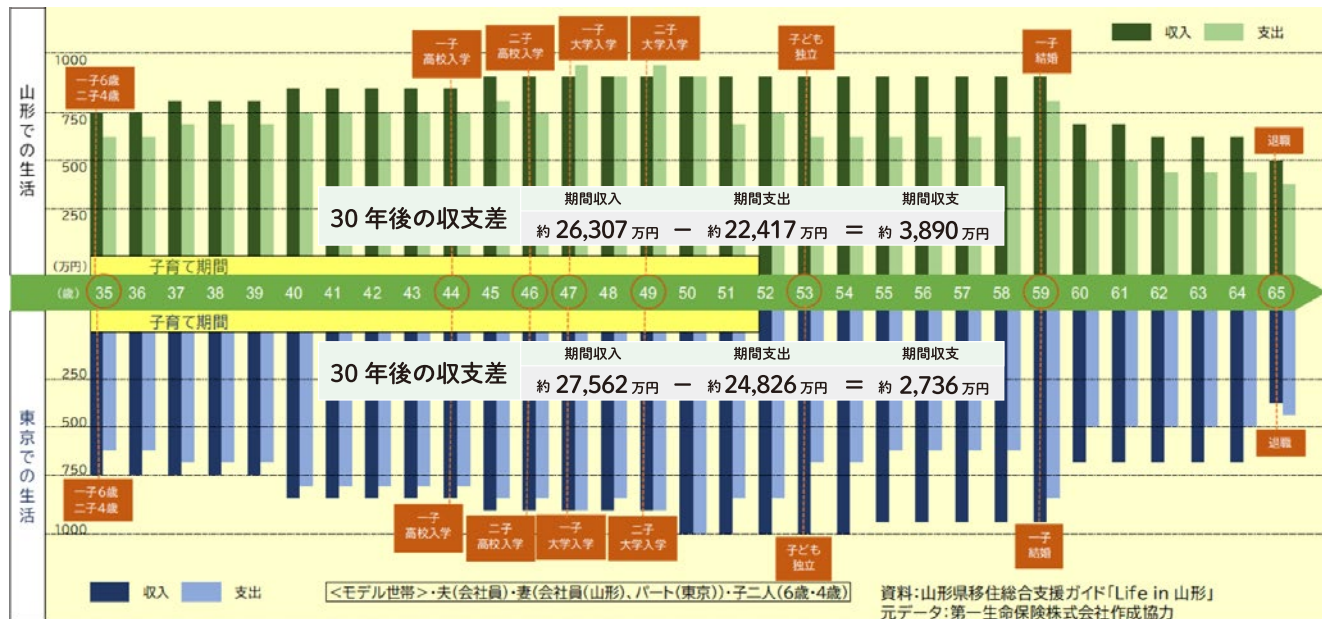
出典 平成30年住宅・土地統計調査 令和3年社会生活基本調査

住まいの比較

	持家率	持家㎡数	家賃
山形市	1.4倍↑ 61.3%	1.6倍↑ 146.77㎡	約半額↓ 5.42万円/月
東京	45.0%	93.28㎡	8.71万円/月

出典 平成30年住宅・土地統計調査

ライフプランの比較(シミュレーション)



30年間で比べると

山形	約3,890万円
東京	約2,736万円

約1,154万円↑
多く貯まります!

山形市は毎年、待機児童0を達成。市の東西に広さが東京ドーム約3個分の公園や約15個分の屋外公園施設、南北に冬の期間でものびのび遊べる屋内遊戯施設があり、それらが無料で利用できます。『子育てするなら山形市』と言われるよう出産から高校生まで切れ目のない各種助成制度が充実しています。

	誕生	幼児	児童	中学生	高校生
こども医療証 (こども医療給付制度)	0歳から18歳到達の年度末まで 医療費無料				
山形市コミュニティバス 子育て支援乗車証交付	市内を走るコミュニティバス 運賃無料 対象：妊婦の方、または未就学児の保護者の方 (対象となるお子さまと同乗する場合に限る)				
出産応援給付金 (出産・子育て応援給付金)	妊婦1人につき 50,000円				
子育て応援給付金 (出産・子育て応援給付金)	新生児1人につき 50,000円				
山形市出産育児一時金	国民健康保険加入者が出産したとき 500,000円 を支給				
児童遊園	市内270ヵ所に幼児・児童が利用できるブランコやすべり台等を設置した遊び場を配置				
充実した子育て支援施設	市の東西にある広さが東京ドーム約3個分の公園や約15個分の屋外公園施設、南北にある屋内遊戯施設を 無料 で利用できます。 ※詳しくは次のページをご覧ください。				
幼児教育・保育の無償化	3歳から小学校入学前まで幼稚園、保育園等の 利用料無料 + 国の制度では無償化の対象とならない第三子以降の 保育料・副食費無料				
山形市健やか教育手当	父母の一方がいない場合 小学校1年生から中学校3年生まで 2,500円/月 年2回支給		両親がいない場合 小学校1年生から中学校3年生まで 4,000円/月 年2回支給		

妊娠届出や出産後の赤ちゃん訪問等を実施した方に対して、交付

無料で利用できる4つの遊び場に行ってみよう！



屋内 屋外

A 山形市児童遊戯施設ベにっこひろば

広い遊び場でからだをいっぱい動かして遊べる施設です。建物は山形市産の木材がふんだんに使用されているため、木の香りとぬくもりを感じながら遊ぶことができます。子育て支援センターの機能も有しており、身体測定・子育て相談の開催・育児サークルなどの情報提供も行っています。



- 所在地** とよし 樋越 22
- 開園時間** 9:00 ~ 19:00
- 主な施設** 遊具のある広場、水遊びのできる噴水、自転車練習場、年齢別に分かれた遊び場、多目的ホール、絵本コーナー、授乳室など
※一部、専用使用のみ有料
- 休館日** 毎月第2木曜日(祝祭日の場合は翌日)
1月1日
- 駐車場** 200台(障がい者用スペースあり)
- 問合せ先** 023-674-0220



屋内 屋外

B シェルターインクルーシブプレイス コパル

性別や国籍の違い、障がいの有無などの違いにかかわらず、すべての子どもたちが安心して遊べる施設です。自分で体重を支えられない子や車椅子の子が乗れるブランコなど、インクルーシブな遊具が配置されているほか、親子みんなで一緒に遊べるように作られています。



- 所在地** 片谷地 580-1
- 開園時間** 9:00 ~ 18:00
体育館の専用使用 9:00 ~ 22:00
(屋外のみ10~3月は16:00まで)
- 主な施設** 屋外広場、体育館、図書コーナー、ものづくりのへや、デジタルアトラクション、赤ちゃん休憩室、子育て支援センター、カフェなど ※一部有料施設あり
- 休館日** 毎月第2・4火曜日(祝日の場合は翌日)
1月1日
- 駐車場** 約300台(障がい者用スペースあり)
- 問合せ先** 023-676-9876



屋内 屋外

C 西公園

東京ドーム3個分の敷地内には遊具遊び・水遊びのほか、テニスコートなどのスポーツ施設、足湯、散歩道、芋煮広場などがあり、用途に合わせて誰もが気軽に利用できる公園です。二酸化炭素を吸収・固定するという緑の働きに着目し、地球温暖化防止に貢献する緑豊かな公園として整備しています。



- 所在地** 門伝字落合河原 3114-10
- 開園時間** 5:00 ~ 22:00
- 主な施設** 大型木製遊具、水遊び用の池、キャンプ場、いも煮広場、足湯・手湯、テニスコート、パークセンターなど ※一部有料施設あり
- 休園日** 12月29日~1月3日
- 駐車場** 450台(障がい者用スペースあり)
- 敷地面積** 15.6ha(東京ドーム約3個分)
- 問合せ先** 西公園パークセンター
023-643-2450(8:30~17:00)
※休園日と月曜日(祝日の場合は翌平日)を除く



屋外

D 西藏王公園

蔵王高原の標高500mに位置し、広大で豊かな自然環境をもった公園です。東京ドーム約15個分の広大な敷地にはアスレチック遊具が多く配置されており、キャンプ場、バーベキュー広場、芝生広場もあり、のびのび過ごすことができます。展望台からは山形市街と美しい山々の絶景が一望できます。



- 所在地** 岩波~上桜田
- 開園時間** 4月下旬から11月下旬まで
(積雪により変動)
- 主な施設** キャンプ場、バーベキュー広場、アスレチックのある遊び場(森の遊び場・森の広場)、おむつ替えスペースなど
- 駐車場** 約600台
- 敷地面積** 72.5ha(東京ドーム約15個分)
- 問合せ先** 西藏王公園施設管理共同体
代表:(株)モンテディオ山形
023-655-5900

教育環境

市立小中学校では1人1台のタブレット端末、全ての普通教室へのエアコン設置・電子黒板が導入されており、快適に学習に集中できる環境が整っています。ICTを活用することでお互いの考えをリアルタイムで共有したり、遠くの人と意見交換をしたりすることができるなど、多様な学びを実現。自然に恵まれた豊かな環境も学びのフィールドにしながら、授業とICTを融合させた学びができるのが特徴です。

ローカルでも！最先端のICT教育



東北トップクラスの導入数

電子黒板

画面の保存やタブレットでの共有、写真や教材の上に書き込むことができるので、視覚的にわかりやすい授業が可能になります。

1人1台

タブレット端末

調べる、まとめる、仲間と交流する。多様な学びが可能になります。

AI型ドリル、デジタル教科書

AIが一人ひとりに合わせた問題を出題するので、学び直しもできます。デジタル教科書は映像や音声で資料を視聴できるので、理解がより深まります。

プログラミング教材

中学生対象の双方向型教材で、先進的なプログラミングを体験できます。

ローカルだからこそ！豊かな自然と伝統文化



豊かな環境でのびのび学べる

農業体験

※学校ごとに内容は異なります

地元の方に教わりながら田植えや稲刈りをし、収穫したお米をみんなでいただきます。その他にも紅花の栽培・染めなど、山形ならではの体験ができます。

伝統文化

※学校ごとに内容は異なります

花笠おどりははじめ、地域の踊りや太鼓、芋煮会など、地域の伝統文化にふれることができます。

スキー教室

樹氷で有名な蔵王等でスキー教室を行います。インストラクターが各々のスキルレベルにあわせて教えてくれるので初めてでも安心です。

動画もチェック！

Youtube

【山形市のリアル #2】

その考え方はもう古い！

地方でも最先端のICT教育が受けられる👍



はたらく環境

山形市は産業基盤も整備されており、農業や工業、サービス業など様々な分野での就業機会があります。そのため、「はたらく環境の整備」に重点を置き、企業立地や求職者にとって魅力的な環境づくりを進めています。例えば、市内の工業団地には充実した施設やサービスが整備され、企業の立地のしやすさを促しています。創業、就職、就農を支援する取り組みも充実しており、山形市は働きやすい都市の一つとして注目されています。

創業する



山形市中心市街地新規出店者 サポート事業費補助金

中心市街地の空き店舗を活用し、新たに飲食店等を出店する場合に、その初期投資費用の一部を補助します。



やまがたチャレンジ創業応援事業助成金(山形県)

地域ニーズにマッチした事業や独自性のある事業を創業した場合に、創業に要する経費の一部を助成します。



地域課題解決型創業支援事業助成金(山形県)

山形県のソーシャルイノベーション創出モデル事業の一環として、地域課題の解決につながる事業を創業した場合に、創業に要する経費の一部を助成します。



やまがた街なか出店サポートセンター

中心市街地での新規出店・創業を支援し、空き店舗解消を図るためのワンストップ窓口です。

就職する



やまがた暮らし・しごとサポートセンター

専任スタッフがUターン・Iターン就職についての相談、職業紹介をおこなっています。



山形県就職情報サイト

県内の求人を発信する山形県独自の求人情報サイトです。



JOB 山形移住支援金 (山形県移住支援金対象求人サイト)

県内の移住支援金対象の求人を紹介するサイトです。



やまがた21人財バンク

山形県外から山形県にUターン就職したい方と県内企業とのマッチングを支援します。



ヤマガタズカン

県内の村山地域、最上地域の情報を掲載する移住者向け求人メディアです。

就農する



新規就農短期体験フリープラン

山形市内の農家にて農作業を体験。期間は1～5日、内容は受入農家との相談によって決まります。



新規就農バスツアー

山形市内の農家、団地等を視察訪問します。参加費無料。

他にも

就農・研修サポート / 農地貸借補助
機械・施設導入補助 / 施設修繕補助
住宅家賃補助

詳細は、市公式ホームページをご覧ください。

12 移住までの流れ

新しい土地への移住に期待と不安はつきもの。理想の暮らしを実現させるためには移住目的を整理し、情報を収集することが重要です。インターネットだけではなく、相談窓口や説明会に参加するとより詳しい情報が分かります。また、現地を事前に訪れて暮らしを体験するのもおすすめです。そのために山形市の移住相談会やオーダーメイド型移住体験ツアーを活用してはいかがでしょうか？（住まい、仕事探しについては、それぞれの専門窓口がありますので、こちらもぜひご活用ください。）

STEP 01 情報収集

移住窓口相談についてはP18をご参照ください。

■ 各種「移住フェア」参加



山形市単独の移住相談会を開催するほか、山形県や各種団体が主催する移住相談イベントにも出展しています。



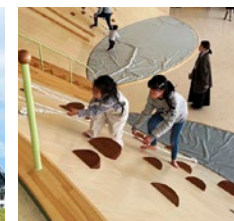
左、中央）先輩移住者によるトークコーナー

右）移住相談会の様子

■ オーダーメイド型 移住体験ツアー参加



山形市では、移住候補地として検討いただくための『オーダーメイド型移住体験ツアー』をご提供します。あなたが本当に知りたい“雰囲気”と“生活”を体験していただけるよう、ご希望をお聞きしてツアー行程を組みご案内します。このツアーをきっかけに17組32名が移住しました。（令和6年3月末）



ツアー内容 市内の見学先や体験内容の行程について、事前にヒアリングを実施し、参加申込者のニーズに合わせて対応するオーダーメイド型の体験ツアーです。

※参加申込者が希望する日程に合わせて、本市職員が行程等を調整します。（GW・年末年始等の休業期間を除く）
※なお、「テレワーク移住」希望の参加者は、「やまがたクリエイティブシティセンター Q1」の施設をご案内します。

参加費用 参加費用は無料です。
<山形市の負担分> 最寄りのJR 駅又は空港から山形駅・空港までの往復交通費及び宿泊代
<参加者の負担分> 飲食費、施設の入場料等

詳細、お申し込みはこちらをご覧ください。
<https://yamagatalife.com/news/20240407304/>



STEP 02 移住準備

子育てについてはP11、仕事についてはP14をご参照ください。

STEP 03 移住

■ 住まいについて

山形市住宅リフォーム総合支援事業補助金

建築指導課

山形市民でリフォーム工事を行う住宅または山形市空き家バンク登録物件を所有し、かつ、当該住宅に居住する方に対し、工事費用の一部を補助します（移住者加算あり）。



環境貢献市産材支援家づくり事業補助金

森林整備課

山形市に自ら居住する戸建て住宅を新築する方で、山形市産材を使用する場合、1戸あたり50万円を補助します（移住世帯の加算制度に該当する場合、最大90万円まで補助が受けられます）。



山形市空き家バンク

住宅政策課

空き家を売りたい・貸したい方から山形市に提供された物件情報を、空き家を買いたい・借りたい方に紹介する制度です。物件は山形市のホームページや住宅政策課窓口で公開しています。



山形市空き家バンク取引仲介手数料補助金

住宅政策課

山形市空き家バンクに登録された物件を購入または賃借し、移住する方に対し、宅建業者に支払う仲介手数料の一部を補助します。



■ 移住支援金

東京23区内（在住者、または東京圏のうち条件不利地域以外からの通勤者）から山形市に移住し、移住支援金の支給要件を満たす方に支給します。 単身：60万円
世帯：100万円
※18歳未満の帯同者100万円/（1人加算） ※毎年度、予算額の範囲内で支給します。

■ 若者・子育て世帯への 移住支援金（山形県独自）

県外から県内へ移住される40歳未満の若者世帯、及び15歳未満の子どもを帯同する子育て世帯に対して、それぞれ10万円、両方の条件を満たす世帯には、20万円の支援金を支給します。

■ 移住世帯向け 食の支援事業（米・味噌・醤油）

県外から県内に移住し、一定の要件を満たす世帯に「米・味噌・醤油」1年分を提供します。
提供内容 ①米：世帯60kg、単身40kg ②味噌：世帯3kg、単身2kg ③醤油：世帯3ℓ、単身2ℓ

■ ふるさと山形移住・ 定住促進事業家賃補助金

県外から県内に移住した方が賃貸住宅に入居された場合、その家賃の一部を月額最大1万円を上限とし、最大24ヶ月補助します。
※要件がありますので、詳細は山形県移住定住・地域活力創生課へお問い合わせください。

■ 引越基本料金 30% 割引

山形市と包括連携協定を結ぶアート引越センター株式会社で引越のお見積りをし、県外から山形市にお引越する方を対象に、引越基本料金を30%割引します。※3/15~4/10を除きます。

■ やまがた就職促進 奨学金返還支援事業

山形県と山形市が連携し、将来の担い手となる若者の県内回帰・定着を促進するため、日本学生支援機構第一種奨学金の返還支援事業を行っています。
※次の2種類の枠があり、それぞれ要件が異なりますので、詳細は各担当課にお問い合わせください。
【やまがた若者定着枠】→教育委員会学校教育課 【Uターン促進枠】→産業政策課働きやすさ追求室

※各種補助金は先着順の場合や内容が変更になる場合があります。 ※詳細は、各ホームページをご覧ください。



一目惚れをした築60年の古民家

移住のきっかけ

2年に1度開催される芸術祭の「山形ビエンナーレ」に念願叶って行った際、展示会場が山形市内の各地にあったので、ぐるっと全体をまわることができ、新しいお店もあれば古き良きお店もあっていいなと思いました。音楽やアートなどの文化的な香りがするところも職業柄必要だったので、安心しました。その後、山形市の移住体験ツアーに参加し、生活圏など案内していただき、素敵な古民家を見つけたので移住しました。



馬見ヶ崎川で見た満開の桜

移住してよかったこと

東京では狭いアパートの窓を開けると工事現場の景色が見え、住宅街のど真ん中に住んで毎日退屈でしたが、山形市に来てから山の景色が毎日変わり、四季の変化がはっきりと感じられ、心地いい気持ちになる時間が増えたことです。

移住しておどろいたこと

朝晩が寒い！日中は暖かい日も朝晩はぐっと冷え込んで、気温の寒暖差に驚きました。アラジンのストーブを購入し、初めて火をつけた時はどきどきしましたが、今では毎朝ストーブをつけるのが楽しみになりました。あと、山形市の方は親切すぎてびっくりしました。



馬と触れ合えるカフェにて

このめぐみ 河野愛さん profile

フリーランスのグラフィックデザイナー。ロゴマーク、パッケージ、チラシ、WEBサイトなどのデザイン全般の仕事をしています。日本各地のローカルな場所や文化が好きで、気になる地域に出向き、その地域の特産品などのデザインを作ったりしています。

前住所地 東京都

趣味 山登り、スパイスカレー作り
ティンホイッスル
(ケルトの笛)の練習

好きな食べ物 スパイスカレー、餃子

好きな音楽 ケルト音楽



お隣さんにもらった筍と家の庭で採れた露

移住を考えている人へメッセージ

東京からゆかりのない山形市への移住は冬の寒さなど不安も大きかったですが、いざ引っ越してみると困ったことはあまりなく、毎日山の美しい景色が見られて幸福度が上がりました。

迷っている方はあまり気負わずに、移住というよりはちょっと長めの旅行に出る感覚でいると良いかもしれません。人生色々な経験ができるといいですね！

チンキにするために庭で摘んだドクダミ
桑の実手作りジャム用

移住についての相談窓口は東京都心に2ヶ所、山形市内に4ヶ所あります。

「移住について興味はあるけど、なにから始めていいかわからない。」「山形市に移住したいけど、どんな仕事があるのか。」「自然豊かな場所でのびのび子育てしたい。」など、移住についてお悩みの方々のサポートをしています。お気軽にご相談ください。

東京窓口

① やまがた暮らし・しごとサポートセンター

火～日 10:00～18:00(祝日除く)
100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館(NPO法人 ふるさと回帰支援センター内)
移住相談窓口 : 03-6269-9533
就職相談窓口 : 03-6810-2666

② Uターン就職支援相談窓口(山形市東京事務所内)

月～金 9:00～16:00(祝日除く)
103-0028 東京都中央区八重洲1-4-16 東京建物八重洲ビル3階
+ OURS八重洲内 山形市東京事務所
03-5202-2173
tokyo@city.yamagata-yamagata.lg.jp
※お越しになる際は、事前にメールまたはお電話で相談日時等をお申し込みください。



山形窓口

① 山形県移住定住・地域活力創生課

月～金 8:30～17:15(祝日除く)
990-0023 山形市松波2-8-1
023-630-2234

③ 山形市企画調整課 移住促進係

月～金 8:30～17:15(祝日除く)
990-8540 山形市旅籠町2-3-25
023-641-1212(内線396)
kikaku@city.yamagata-yamagata.lg.jp

② くらすべ山形(ふるさと山形移住・定住推進センター)

月～金 8:30～17:15(祝日除く)
990-2492 山形市鉄砲町2-19-68 村山総合支庁本庁舎3階
023-687-0777

④ real local 山形

火～土 10:00～17:00(祝日除く)
990-0039 山形市香澄町1-11-18 とみひろビル1F 02
023-673-0565
info@reallocal-y.jp
※お越しになる際は、事前にメールまたはお電話で相談日時等をお申し込みください。



移住促進の公式ウェブサイト
「ヤマガターン」がリニューアル!

Website



Renewal!!

是非ご覧ください

